

# 株式会社 ヒロハマ 社内報

## <経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

8月迄業績	計画	実 績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売 上	287,317	286,544	- 773	99.7%	2,468	100.9%	435,923 万円	435,107 万円
営業利益	8,140	5,573	-2,567	68.5%	- 9,626	36.7%	9,331( 2.14%)	22,553(5.18%)

9月能登半島における豪雨災害にてお亡くなりになられた方々に謹んでお悔みを申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

### <8月は稼働日が少なく厳しい業績/安定供給でしのぎましょう>

8月は稼働日が17日と少なく、売上・営業利益ともに厳しい結果となりました。好調であった昨年度も8月度は利益確保できなかった通り、例年8月は鬼門と言えそうです。東西工場では徐々に仕入先からの値上げ影響(ブリキ材以外)が出始めており、今後はブリキ材の値上げも控えています。年度末に向けては、現在進めている営業によるお客様への値上げの早期実現、工場による仕入れ値上げの抑制、がカギを握っています。ヒロハマの強みである、「社内製造品の安定品質」、「高稼働率の維持」、「納期対応等の安定供給」は確実に支えとなっており、9月以降の巻き返しも十分可能です。まずは安全第一、そして各事業所、部署、個々人の役割を全うし、利益最大化に努めていきましょう。

# 【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故 0 件 : 8 月度発生無し。(累計 2 件)

品質クレーム:8月度

千葉 2 件(社外 2 件)-累計 13 件(社内 1、社外 12)

今月2件はEOE製品で発生。アルトップと抜本対策対応中。

大阪1件(社外1件) - 累計1件(今期初計上)

⇒ 全社年間目標 21 件以内に対し14 件。

納期遅れ: なし

コストダウン : 8月度まで累計 3659(101%) ※万円

新規品売上 : 8月度まで累計 東営計画 4886⇒実績 3766(77%)

大営計画 1487⇒実績 1285(86%)

稼働率 : 8月度 千工 目標 81% ⇒ 実績 80.8% (通年 80.05%) 大工 目標 79% ⇒ 実績 81.2% (通年 80.0%)

#### <「失敗学」から学ぶ>

私たちが何かをするとき、ミスや失敗はつきものです。とはいいながら、例えば品質クレームにつながるようなミスが何度も続けば、お客様も離れていきませ

ではどうするか。できるだけミスを減らす合理的な努力することと、してしまった失敗から学んで、二度とそれを繰り返さないようにすることです。

とは言いながら、それは簡単なことではありませんので、今月号からの社内報では【「失敗学」から学ぶ】として記述していこうと思います。

参考資料は「ミスしても評価が高い人は何をしているのか?」飯野謙次著 (日経 BP)。飯野謙次氏はスタンフォード大学博士で、失敗学会事務局長で す。本の中で次のように述べています。

失敗学の最大の特徴は、同じミスや失敗を二度と繰り返さないレベルにまで、構造や仕組みから変えること。

(本からの引用は、上記のように*斜体*にします。太字部分は、本文にならっています)

そして、氏はまえがきの最後にこう述べています。

ミスや失敗をダメなものととらえ、そこで終わりだと決めつけるのではなく、次のプラスを生むためにはどうしたらいいのか。

ミスをしてしまったとき、どう対処すれば、事態が好転するのか。

どうすれば、ミスを単なるマイナスで終わらせるのではなく、経験値として身につけられるのか。

どんなマインドが、失敗を失敗で終わらせずに、大きな成功をもたらすのか。 このような、ミスや失敗を糧に飛躍的に成長する方法を、本書で一緒に考え ていければ幸いです。

全体の流れとしては、次のように進めて行く予定です。

- (1)ミスから「かけがえのない学び」を得る3ステップ
- (2)ミスを通して「観察力」「分析力」をつける方法

8月単月 売 Ł 営業利益 営業利益累計 単位:万円 計画 実 績 計画 実 績 計画 実 績 21,990 19,039 663 7,383 6,000 東京営業所 132 17 588 -705 -1 491 -308 20.429 -212 千葉工場 大阪営業所 12,932 11,918 257 213 2,046 2,239 10,604 9,866 -406 -1,040 -1,079 -2,358 大阪工場 34.922 30.957 -191 -2.186 8.139 5.573

## <健康優良企業に認定されました/銀の認定満点>

「従業員の健康は企業の誇り。活気ある職場は従業員の健康づくりから。」この言葉を冠とした健康優良企業にヒロハマは今年度も認定を受けることができました。健康診断受診率100%など皆さんのご協力もあり、数ある項目に対し、100点の採点結果となりました。これは認定企業の中でも1.7%の割合だそうです。大変喜ばしい結果と思います。ヒロハマでは現状で満足することなく、今後も皆さん自身が活気を持ち仕事に励めるよう様々な取り組みを打ち出していく方針です。



- (3)ミスを通して「計画力」をつける方法
- (4)ミスを通して「学習力」をつける方法
- (5)ミスを通して「伝達力」をつける方法
- (6)ミスを通して「注意力」を見直す方法
- (7)ミスを通して、組織と人を育てる方法
- 【(1)ミスから「かけがえのない学び」を得る3ステップ】
- 1)ステップ1「とっさの反応」のレベルを上げる
- 冷静になる

**咄嗟の反応をコントロールするのは難しい**ものです。ですから、ここでは 一つだけ覚えて、実践してみてください。

#### 「とにかく、いったん、止まって深呼吸」

どんなミスも失敗も、**起こってしまったという事実は変えられません。**ならば、焦って感情的になり、余計な行動をとったり口走ったりする前に、とにかくいったん停止してください。

**落ち着けばそれだけで、多くのことが改善します。**深呼吸をして慌てふためく気持ちが抑えられてから、状況を冷静に分析していきましょう。

②「自分が」という自責の念を抑える

このタイミングで「自分が」「私は」という反省を抑え込んだ方がいいのには2つの理由があります。

まず1点目は、「自分が」という自責の念に駆られていると、**対応の適切な** タイミングを逃してしまう場合があることです。

2点目は、ビジネスの場面で起こるミスや失敗は、多くの場合、**自分一人**では拾いきれないからです。

仕事上のミスは、自分のものではありません。グループのもの、部署のもの、組織のものです。

9/30 廣濵 泰久